

2016年8月吉日

《 第26回勉強会 ワークショップのご案内 》

テーマ 『 経皮吸収を考える』

日本化粧品技術者会 大阪支部
幹事長 前山 薫
部会長 前川 喜美

平素は、日本化粧品技術者会大阪支部の活動にご支援、またご参加いただき、誠に有難うございます。
近年、機能性化粧品において、経皮吸収を謳った商品が数多く上市されるようになり、開発において有効成分の皮膚透過(浸透)を検討することは、大変重要になりました。

今回は、経皮吸収の研究で著名な徳留嘉寛先生をお招きし、経皮吸収の基礎と、その促進機構の考え方について先生のご研究内容を交えて、ご講演いただきます。後半では、経皮吸収に重要なキャリア(薬物送達体)に有効な成分について、4社の化粧品原料メーカーの方々から、ご紹介いただきます。

前半の徳留先生のご講演と合わせて、ご聴講いただくことで、経皮吸収の理解が深まると同時に、具体的な原料についての情報も得ていただける機会になることと思います。また、情報交流会では、より具体的な情報を得ていただくため、化粧品原料メーカー4社の原料展示も行います。

どうぞ奮ってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

記

[日 時] **2016年9月26日(月) 13:00～** 受付開始 (3Fロビーにて)

[場 所] **大阪薬業年金会館 301号室**

<http://www.dy-net.or.jp/kankei/nenkin.htm>

(地下鉄谷町線 谷町6丁目駅下車 C 階段 4番出口/TEL:06-6768-4451)

[スケジュール]

1. 13:30 ～ 13:35 開会の挨拶

2. 13:35 ～ 15:05 **講演「経皮吸収の基礎とその促進機構の考え方**

～油剤を用いた高経皮吸収処方の方考え方～」

城西大学薬学部 皮膚生理学研究室
教授 徳留 嘉寛 先生

- ・ 経皮吸収の基礎的および促進方法の考え方
- ・ 実験方法(膜の選定なども含めて)
- ・ 実施例1(リポソームを用いた検討)
- ・ 実施例2(油剤を用いた経皮吸収促進技術)
- ・ 実施例3(ヒアルロン酸は経皮吸収するのか? 経皮吸収促進素材としての油剤の可能性を探る)

<10分休憩>

3. 15:15 ~ 16:00 原料会社発表 (2社)

原料紹介 1 「薬剤の経皮吸収性をコントロールする基剤成分」

株式会社コスモステクニカルセンター
有用性・安全性評価部 吉田 大介氏

薬剤の経皮吸収性は基剤の組み合わせにより大きく変化します。複数の油剤を組み合わせ
た場合や、リポソームに添加する素材の吸収促進効果を、経皮吸収の評価法とともに、ご紹
介します。

原料紹介 2 「両親媒性ポリエーテルとヘテロジェミニ型 P C 誘導体による経皮吸収制御」

日油株式会社
関口 孝治氏

本発表では、経皮吸収を制御する以下 2 つのアプローチを紹介する。

- ① 皮膚分配性制御:水溶性保湿油 WILBRIDE®の両親媒性を生かした経皮吸収制御
- ② ベシクル形成:ホスホリルコリン(PC)基を有するジェミニ型化合物 VINOVEIL®の経皮
吸収促進効果

<10分休憩>

4. 16:10 ~ 16:55 原料会社発表 (2社)

**原料紹介 3 「リポソーム前駆体 Phytopresome™ 及び両親媒性エステル Neosolue™-Aqulio
による皮膚への浸透促進作用と有効成分の効果向上について」**

日本精化株式会社
仁木 洋子氏

浸透メカニズムの異なる原料 2 種をご紹介します。リポソーム前駆体 Phytopresome™は、
主に親油性有効成分の角層貯留性を向上させ、両親媒性エステル Neosolue™-Aqulio は、
角層に浸透しにくい親水性有効成分の浸透促進に優れます。

原料紹介 4 「ペリセアを用いた水溶性成分の浸透促進」

旭化成株式会社 機能活性剤技術開発部
関口 範夫氏
(10月1日より旭化成ファインケム株式会社に変更)

水溶性成分は肌を荒らさせて浸透させる方法が一般的ですが、ジェミニ型構造式のペリセ
アを用いると肌を荒らさせずに浸透が可能であることを試験方法説明の後、得られたデー
タやメカニズムの考察に至るまでを紹介させていただきます。

5. 16:55 ~ 17:00 閉会の挨拶

6. 移動後 ~ 18:30 **原料展示・情報交流会 401・402 号室**

※ 会場にて、4社による原料展示を行います。
活発な情報交流の場としていただければ幸いです。

〔参加費〕 会員・会員代理：3,000円

※ 原則先着、定員100名となり次第、締め切りとさせていただきますが、

1社につき2名様まで（但し、各社、会員登録されている人数に限る）で、お願い致します。

会員登録されている会員名のご記入も、お願い致します。

定員に余裕がある場合は、1社3名まで申し込みを可能と致します。
ご希望の方は、事前に事務局までお問合せください。

〔申込方法〕 申込書を、FAXまたはメールにて **9月13日（火）**までに、事務局宛（下記記載）にお送りください。

※ 参加証等は発行致しませんが、当日、受付にて参加者名を確認させていただきます。

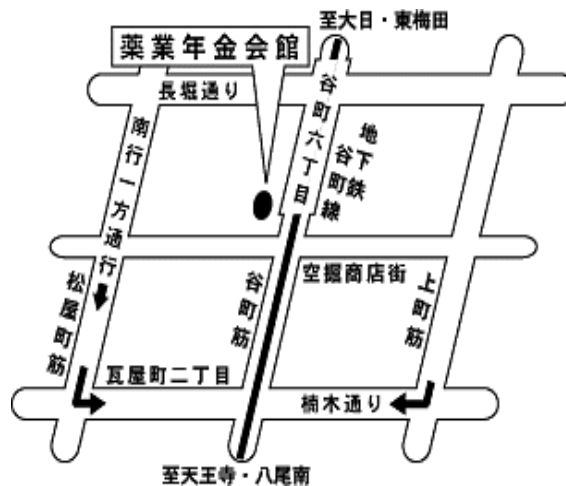
申し込み期間が短くなっております。お早めに、お申し込みをお願い致します。

〔送金方法〕 参加費は**前納**とし、支部名義の下記口座に **9月13日（火）**までに、お振込み願います。
なお、振込料は各自にてご負担くださいますよう、お願い申し上げます。

口座名：三井住友銀行 大阪中央支店 普通 No.145680

日本化粧品技術者会 大阪支部 会計 安藤 芳彦（アンドウ ヨシヒコ）

〔会場地図〕



〔問合せ先〕 日本化粧品技術者会 大阪支部 事務局

〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-11 岩瀬コスファ(株)内

TEL:06-6231-3459 FAX:06-6231-5769 Email:osaka@sccj-ifsc.com

以上

『2016年9月26日(月) 第26回勉強会 ワークショップ 参加申込書』

申込日: 月 日

社名・所属:	TEL:
	FAX:
氏名:	MAIL:
(代理参加の場合 会員名:)	
社名・所属:	TEL:
	FAX:
氏名:	MAIL:
(代理参加の場合 会員名:)	

◆参加費の振込み予定日 (締切日 : 2016年9月13日(火))

2016年 月 日 ()